

2. 環境保全活動状況(前ページ1～3に記入した場合は、記入不要)

(はいは「○」、いいえは「×」、対象外は「-」を記入)

【企業理念・方針】

- | | |
|---|-----|
| (1) 環境保全に関する企業理念がある | [] |
| (2) 環境方針を定め継続的改善および汚染防止を定めている | [] |
| (3) 環境方針で法規制の遵守を定めている | [] |
| (4) 環境方針を全ての従業員に徹底させ、第三者が方針を入手できる | [] |
| (5) NTNグループ グリーン調達基準書の要求事項を理解し、社内展開している | [] |

【目的・目標】

- | | |
|---------------------------------|-----|
| (6) 環境保全に対する目標がある | [] |
| (7) 環境目標を達成するための組織・責任者が明確になっている | [] |
| (8) 環境目標を達成するための実行計画がある | [] |

【環境評価・システム】

- | | |
|--|-----|
| (9) 大気汚染を管理・評価し、経営層に報告して改善に努力している | [] |
| (10) 水質汚濁を管理・評価し、経営層に報告して改善に努力している | [] |
| (11) 騒音・振動を管理・評価し、経営層に報告して改善に努力している | [] |
| (12) 廃棄物処理を管理・評価し、経営層に報告して改善に努力している | [] |
| (13) エネルギー（電気、ガス、燃料等）を管理・評価し、
経営層に報告して改善に努力している | [] |
| (14) NTNが定める禁止物質を自社内で使用していない | [] |
| (15) 製品アセスメントの仕組みがある | [] |
| (16) 緊急時に対応する仕組みがある | [] |
| (17) 環境内部監査の仕組みがある | [] |
| (18) 文書管理の仕組みがある | [] |

【教育訓練と情報提供】

- | | |
|---|-----|
| (19) 従業員に対し環境教育を実施している | [] |
| (20) 特に、著しい環境影響を及ぼす可能性のある作業に従事する者のリストを作成し、
教育訓練を実施している | [] |
| (21) 従業員に対し環境保全に関する情報を継続的に提供している | [] |

【様式2】 環境負荷物質管理体制チェックシート

取引先コードNo:	チェック日:
取引先名:	責任者名:
取引先所在地:	チェック者名:

達成率	100%
-----	------

0. 自社でのELV/RoHS禁止10物質使用状況の把握	
0	ELV/RoHS禁止10物質のいずれかを含有する完成品・部品・材料・副資材・工程材料・包装材を取扱っているか？ (顧客および用途問わず)
	(1) YES・NO (どちらかに○) (2) [(1)がYESの場合のみ] 物質: 用途: NTNへの納入品に係るか? : YES・NO

【採点方法】
採点範囲: 要求事項1.~5.
得点配分: 重点項目2点×10問、通常項目1点×10問(最高30点)
達成率=得点合計÷最高点(非対象を除く)×100 (小数第1位 4捨5入)
【判定基準】
0.(1)がYESの場合: 達成率80%以上合格
0.(1)がNOの場合: 達成率60%以上合格

要求事項		チェック項目		判断基準		評価	具体的な実施事項、課題等	
二重下線: 重点項目 評価欄には「実施中:○」or「不備あり:×」or「非対象:-」を記入し、実施事項、課題を記入								
1. 自社製品のサプライチェーンの明確化								
1.1	調達部品, 材料, 副資材(以下: 調達品)を管理している	(1)	全調達品を個別に認識できるように, リスト管理しているか?	紙もしくは電子データでリスト化している				
		(2)	全調達品に対する環境負荷物質管理責任者を記入したリストがあるか?	同上				
	1.2	調達品の環境負荷物質規制(法律、条例、協定、NTNからの要求事項)への適合が確認できるように, サプライチェーンが明確になっている	(3)	環境負荷物質規制を遵守するため, 2次取引先以降も含めたサプライチェーンが明確か?	n次取引先が(n+1)次取引先を把握している			
			(4)	上記取引先の環境負荷物質対応責任者を記入したリストがあるか?	n次取引先が(n+1)次取引先の責任者を把握している			
2. 取引先への要求の明確化								
2.1	取引先に要求する環境負荷物質管理事項を定めている	(5)	取引先に要求する環境負荷物質管理事項とその展開方法を定めた規程・基準類があるか?	紙もしくは電子データで文書化している				
2.2	取引先に対して環境負荷物質規制の管理を指示徹底している	(6)	環境負荷物質の管理, 削減, 切替えについての方針を, 取引先に説明会や文書発信等で展開したか?	取引先への方針説明資料や説明会議事録がある				
		(7)	図面, 購買仕様書等で, 調達品毎に「環境負荷物質非含有」を指示しているか?	環境負荷物質非含有を全ての図面や調達仕様書に明記している				
2.3	取引先の環境負荷物質管理体制を確認している	(8)	取引先の環境負荷物質管理体制を確認する手順が明確か?(含む, 工程調査)	紙もしくは電子データで文書化している				
		(9)	取引先の環境負荷物質管理点検結果があるか?	紙もしくは電子データで, 取引先を点検した記録がある				
3. 取引先からの調達品管理の徹底								
3.1	調達品の環境負荷物質に関する受入れ手順を定めている	(10)	調達品受入れ時, 環境負荷物質規制に対する適否の判断手順を定めた規程・基準類があるか?	紙もしくは電子データで文書化している				
3.2	取引先からELV/RoHS禁止10物質非含有の証明を得ている	(11)	取引先から, 調達品毎のELV/RoHS禁止10物質非含有のエビデンスを受領しているか?	非含有証明となるものを受領している(エビデンス一覧表, エビデンス)				
3.3	調達品のELV/RoHS禁止10物質の分析を行うことができる	(12)	ELV/RoHS禁止10物質分析基準に従って分析確認しているか?(外部分析機関も可)	紙もしくは電子データで文書化しており, 分析確認した結果がある				
4. 環境負荷物質管理体制の構築・維持								
4.1	自社(技術部門, 製造部門, 品証部門)における環境負荷物質管理体制(ELV/RoHS禁止10物質の非含有, 混入防止)が構築されている	(13)	経営者, 社員等に対し環境負荷物質管理状況を会議等で報告し, 改善を実施しているか?	会議の議事録及び結果または経過を示す記録等がある				
		(14)	設計開発および生産準備段階での, ELV/RoHS禁止10物質非含有への適合性評価を, 基準に従って実施しているか?	紙もしくは電子データで文書化しており, 実施記録がある				
		(15)	工程変更時(材料・副資材・取引先等)のELV/RoHS禁止10物質非含有を, 基準に従って実施しているか?	紙もしくは電子データで文書化されており, 実施記録がある				
		(16)	環境負荷物質管理体制に関し内部監査を定期的実施しているか?	紙もしくは電子データで文書化しており, 実施記録がある				
4.2	ELV/RoHS禁止10物質含有が検出された際の対応方法を定めている	(17)	規制値以上のELV/RoHS禁止10物質の混入が認められた場合の対応処理ルールがあるか?	紙もしくは電子データで文書化(判定基準書, 要領書等)している. ELV/RoHS禁止10物質の検出が認められたことがある場合, その実施記録がある。				
5. 顧客(NTN)への納入品の環境負荷物質保証								
5.1	顧客から要求された時, ELV/RoHS禁止10物質の非含有証明(エビデンス)が提出できる	(18)	顧客へのELV/RoHS禁止10物質非含有のエビデンスやその報告の手順を定めた規程類があるか?	紙もしくは電子データで文書化している				
		(19)	NTNの要求に従いELV/RoHS禁止10物質の分析結果を提出できるか?(外部分析機関も可)	NTNもしくは, 他の顧客に提出した実績(エビデンス)がある				
5.2	IMDS, JAPIA統一データシートで含有物質(成分)の報告ができる	(20)	NTNの要求形式・要求内容(90wt%以上の成分開示)で提出できるか?	NTN要求に応じて提出した実績がある(ない場合は他顧客向け実績も可)				

【様式 3】 NTN禁止物質の非含有保証書

会社名： _____ 社印

部署名・役職： _____

責任者名： _____

当社は、NTNグループへの全納入品に関し、「NTNグループ グリーン調達基準書 『附属書 NTN環境負荷物質リスト(ver.1)』」の**NTN禁止物質**が意図的に添加されておらず、不純物及びバラつき等を含め閾値以内であることを保証します。

尚、**ELV/RoHS10 物質**については、閾値内であることをエビデンス（分析データ）により確認しており、既に貴社に提出済みのエビデンスについても有効であることを保証します。

上記内容に反して禁止物質が発見され、その対応でNTNグループが損害を蒙った場合には、当社は誠意を持って対応いたします。

記

【ELV/RoHS10 物質と閾値】

1) 鉛およびその化合物 (Pb)	閾値	1000ppm
2) 水銀およびその化合物 (Hg)	閾値	1000ppm
3) カドミウムおよびその化合物 (Cd)	閾値	100ppm
4) 六価クロム化合物 (Cr ⁶⁺)	閾値	1000ppm
5) ポリ臭化ビフェニル (PBB) 類	閾値	1000ppm
6) ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE) 類	閾値	1000ppm
7) フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (DEHP)	閾値	1000ppm
8) フタル酸ブチルベンジル (BBP)	閾値	1000ppm
9) フタル酸ジ-n-ブチル (DBP)	閾値	1000ppm
10) フタル酸ジイソブチル (DIBP)	閾値	1000ppm

※包装材料については、Pb、Hg、Cd、Cr⁶⁺の合計が 100ppm 以下、及びフタル酸エステル類が各 1000ppm 以下

※ELV 指令および RoHS 指令で除外される材料および用途は除く

以上

【様式4】ELV/RoHS10物質エビデンス一覧表

承認	確認	作成
作成者連絡先(電話番号):		

品番/品名									
	構成部材名								
		材料名							
		報告書No.							
購入形態									
仕入先									
対象の環境負荷物質(測定値、3σの単位はppm)	鉛	測定値							
		3σ							
		測定方法 データ出所							
	水銀	測定値							
		3σ							
		測定方法 データ出所							
	カドミウム	測定値							
		3σ							
		測定方法 データ出所							
	6価クロム	測定値							
		3σ							
		測定方法 データ出所							
	PBB	測定値							
		3σ							
		測定方法 データ出所							
	PBDE	測定値							
		3σ							
		測定方法 データ出所							
DEHP	測定値								
	3σ								
	測定方法 データ出所								
BBP	測定値								
	3σ								
	測定方法 データ出所								
DBP	測定値								
	3σ								
	測定方法 データ出所								
DIBP	測定値								
	3σ								
	測定方法 データ出所								
判定(○×)									

自己チェック

1) 全ての構成部品(部品、材料、副資材、工程材料、包装材)を洩れなく記載した	○、×
2) 全ての構成部品について判定結果を記入した	

【様式5】NTN禁止物質/申告必須物質の含有申告書

記入日	
会社名	
部署	
氏名	

①禁止物質/申告必須物質の含有情報(行が不足する場合は別紙として添付)

	対象物質情報			部品情報				部品あたりの含有情報		均質材料あたりの含有情報		
	NTN.No ※1	物質名	含有量 a (g)	NTN 部区	NTN 部品品番	NTN 部品名称	貴社 部品型番	部品重量 b (g)	含有率 a/b(%)	均質材料 名称	均質材料 重量 c(g)	含有率 a/c(%)
例	200_14	Di(2-ethylhexyl)phthalate (DEHP)	0.002000	F1	〇〇	△△	□□	1.000	0.2000	ゴム	0.5000	0.4000
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

物質名が長い場合記入が困難な場合はNTN No.だけでも可 ※1 NTNグループ グリーン調達基準書 附属書 NTN環境負荷物質リストのNTN.No

有効数字4桁まで記入

②含有の理由・原因

③今後の切替計画

切替計画日:

主管購買窓口 宛

【様式 6】グリーン調達基準同意書 兼 会社情報登録書

1. グリーン調達基準への同意

当社は、「NTN グループ グリーン調達基準書」及び「附属書 NTN 環境負荷物質リスト(ver.1)」に定められた内容を理解し、その要求事項を遵守することに同意致します。

会社名: _____

責任者: _____ 印

2. 会社情報

(1) 納入品情報(納入品に使用・含有・付着しているものにチェック)

樹脂 ゴム メッキ はんだ 塗料 接着剤 油脂

(2) 会社情報

項目		貴社	メーカー(貴社が商社の場合)
貴社名・事業場名			
住所			
責任者	部署・役職		
	氏名		
	e-mail		
窓口 担当者	部署・役職		
	氏名		
	TEL		
	FAX		
	e-mail		

※貴社が商社の場合、「メーカーの責任者・担当者」も併せて登録して下さい。複数メーカーの商品を扱っている場合はメーカー毎に提出するか、別途、一覧表を作成して添付下さい。

(ただし、貴社が技術・品質サービスを提供している場合には貴社名だけで結構です)

※貴社内の複数の事業所で製造している場合は、事業所毎に提出するか、別途、一覧表を作成して添付下さい。(ただし、複数事業場を統括する窓口がある場合は1か所のみで結構です)